

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 気仙沼市立松岩中学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒 988 - 0141  
宮城県気仙沼市松崎柳沢186番地  
E-mail matsuiwa-chu@kesenuma.ed.jp  
Website \_\_\_\_\_  
幼児児童生徒数 男子 106 名 女子 125 名 合計 231 名  
幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

初めに本校では、ユネスコスクールとして、総合的な学習の時間他において、ESD の推進を実践している。その中で ESD のねらいを以下のように設定している。

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- (3) 地域の未来に関する学習活動や自己の将来に関する学習活動を通して、個の尊さを学び、地域や社会に貢献できる資質や能力を育成する。
- (4) 防災に関する正しい知識を身に付け、自助の能力に加え地域の防災を考え、行動できるようにする。

ESD の実践を通して、自らの生活のあり方を考える力、課題の解決に向けて地域の活動に参加する態度などの育成を目指した。

具体的には、①地域福祉について考える活動、②地域の先輩に学ぶ活動、③地域への貢献について考える活動、④防災について考える活動を行った。

① 1年生【地域福祉について考える】

気仙沼支援学校とレクリエーション交流，クリスマス交流，グランドゴルフ交流を行った。交流学习を通して，障がい者への接し方や支援方法を学び，福祉への理解を深めた。また，福祉体験学習（キャップハンディ体験）では，車いすを操作したり，杖を使って歩行したりするなどして，障がいそのものについての理解を深めることができた。相手の立場になって考えることの大切さに気付く良い機会となり，自分の生き方に生かそうとする様子が見られた。

② 2年生【地域の先輩に学ぶ】

観光・教育・医療・福祉・製造などの職種の中から興味を持った事業所を選び，職場体験学習を行った。地域の方々との交流を通して，地域の良さや課題について考え，地域へ主体的にかかわろうとする気持ちが高まった。また，将来の進路選択や，自らの生き方を考える良い機会となった。

③ 3年生【地域への貢献】

「高齢化と防災の観点から中学生にできること」をテーマに探究活動を行った。高齢者の立場で松岩地区を歩き，中学生にできる地域への貢献を考えた。交通安全や防犯上危険な箇所を防災マップにまとめたり，ガードレール清掃や公園の清掃活動行ったりする活動を通して，中学生にできることが多くあることに気付き，地域のために行動しようとする意欲を高めることができた。

④ 全校での取組【防災学習】

気仙沼市総合防災訓練の日に合わせて，地区ごと，小学生，地域の大人と共に防災訓練を行った。地震発生のサイレンで，地区ごとに一時避難場所に集合し，人員確認した後，小学生・大人と一緒に地区の防災について話し合った。小・中学生・大人とで，防災について考えることで，防災に関する共通認識を持ち，災害時に生かそうとする様子が見られた。防災訓練を通して，地区について学ぶと共に防災への意識を高めることができた。



①の写真（キャップハンディ体験）



②の写真（保育所での職場体験）



③の写真（ガードレール清掃）



④の写真（座談会の様子）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし。
-------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDの学習は、主に総合的な学習の時間で取り組んでいる。発達を考慮した体系的な学習カリキュラムでつながりを重視し、ESDの視点を生かせるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

継続して取り組めるよう、地域連携担当、防災主任をコーディネーターとして役割を担い、学年主任などとの情報の共有を行いながら、地域の人材や関係機関との連携を密に図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

1 評価の方法

主として、総合的な学習の時間における評価をESDの評価に置き換えている。

2 成果と課題

(1) 成果

- ① 身近にある「福祉」について考えることで、誰もが思いやりの心をもって接することの大切さに改めて気付かせることができた。
- ② 地域の特色を生かした福祉への取組や防災活動を行うことで、地域の未来に目を向け、積極的に地域にかかわり、行動しようとする気持ちを高めることができた。

(2) 課題

- ① どのような力が身に付いたかを振り返る時間が十分に確保できなかった。
- ② 新たな地域人材の発掘、活動成果の発信が十分にできなかった。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

特になし。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

全校で取り組んだ防災訓練では、地区毎に定められた避難場所に避難し、地域の方々や保護者と交流しながら、防災について話し合い活動を行った。小学校や地区自治会と協力して計画し、小・中学生と保護者、地区の住民とで、防災について考えることで、防災に関する共通認識を持つことができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

今年度、国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成は行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

地域の方々との交流を通し、地域の良さや課題について考えたことで他者と協力する態度やつながりを重視する態度を育むことができた。また、防災学習を通して、コミュニケーション力や進んで参加する態度を育むことができた。

### （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 1 第1学年 学年テーマ「地域福祉を考える」  
支援学校との交流活動を通して、お互いに認め合い、協力し合う意識を育てるとともに、障害者福祉について考え、福祉に対して主体的、創造的な態度や問題解決能力を育成する。
- 2 第2学年 学年テーマ「地域の先輩に学ぶ」  
職場体験など、地域の方々との交流活動を通して、地域の良さや課題について考え、地域へ主体的に関わろうとする気持ちや態度を育てる。
- 3 第3学年 学年テーマ「地域への貢献」  
地域の振興・防災について考え、問題点や課題を見付け、その解決方法を調べ発表し、地域に果たしていくことで地域の未来に目を向け、自らが担い手となることを自覚し、積極的にかかわり行動しようとする態度を育成する。